

4 学校経営の実際
1 教育目標と経営構想 (グランドデザイン)

<p>くまもと新時代教育大綱 【基本理念】 自らの可能性を拓き、 未来を切り拓く 熊本 のづくり</p>	<p>【いずみ学園教育目標】 ふるさとに誇りをもち、身は健く、心は直く、 未来につながる学力を身に付けた子供の育成</p>	<p>八代教育事務所 取組の重点 やつしろのすべての子供 たちに「夢」に向かって 自ら学ぶ喜びを ともに支える 子供た ちの未来のために</p>
<p>第4期熊本県教育振興 基本計画 10の基本的方向性と34 の取組事項を推進する。</p>	<p>基本理念 地域にへき地あれど教育にへき地なし</p>	<p>八代市教育委員会 教育推進の基本方向 「一人一人を大切に に、人権尊重の精神 に立った学校をつく る」</p>
<p>校訓 「自主・友愛・責任」</p>		
<p>学校教育目標・目指す子供像 「郷土に誇りをもち、自ら学ぶ子供の育成」 ～自己教育力を高め、主体的・協動的に学びに向かう八小っ子～</p>		

<p><目指す学校像> ・子供・家庭・地域に信頼される学校 ・一人一人の子供が輝く学校 ・一人一人の教職員が持てる力を発揮できる学校</p>	<p><重点的に育成を目指す資質・能力> ・言語能力、読解力、情報活用能力 ・問いを立てる力 ・批判的思考力 (なぜ、どうして) ・共感・協働できる力、</p>	<p><目指す教師像> ・子供一人一人を認め、励まし、伸ばす教師 ・授業で勝負する教師 ・教育のプロとして、結果に責任をもつ教師</p>
--	--	--

重点取組事項

<p>豊かな心の育成【やさしく】 変化の激しいこれからの時代を生き抜いていく「生きる力」を育成するための土台となる、他人を思いやる心や自律心、道徳性、社会性など集団の中で養われる人間的な資質能力を育成する学校教育の大きな責務である。そこで、相手の気持ちに寄り添い、ともに力を合わせて活動できる思いやりある優しさをもち自律（自立）した子供を育成する。</p>	<p>確かな学力の育成【かしこく】 AIの進化やグローバル化DXの進展などで予測困難な時代を生き抜くために、知識を使いこなす力や、主体性の育成が重要である。そこで、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会の形成者として自身の人生を切り拓いていく子供を育成する。</p>	<p>健やかな体の育成【たくましく】 「健全な精神は健全な肉体に宿る」と言われるように豊かな心や確かな学力の土台となるものである。子供たちが将来人生の岐路に立ったときの確かな判断と行動ができる力を持つことは必要不可欠である。そこで、目標に向かって最後までやりぬき、それを支える強靱な心身をもった子供を育成する。</p>
--	---	---

○豊かな心を突き詰めると：自己教育力が高められ、積極的な言動につながり、多様な人と協働し、思いやりのある発言や行動につながる。
【具体的取組】⇒自己教育力を高める取組（1 児童に自己存在感を与えること 2 共感的な人間関係を育成すること 3 自己決定の場を与え自己の可能性を援助すること 4 安全・安心な風土の醸成）の実践、道徳科教育の充実、児童会・当番活動、総合的な学習の時間の充実

○確かな学力を突き詰めると：子供が学びの主体となり、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することにつながる。
【具体的取組】⇒子供の問いを引き出す「課題設定の工夫」、子供が主体となって活躍する場面の設定→単元のゴールでの子供の姿をイメージした単元構想と単位時間の学習過程構想、深い学びにつながる各教科における「探求的な学び」の推進とその土台となる読解力の育成、学びの自覚化に向けた「振り返り」の充実、能動的・継続的な家庭学習及び定着の確認（診断テストの定期的実施+賞賛と補充）、ICT機器の積極的活用（授業での計画的活用と個別最適な学びに向けたドリル的活用）

○健やかな体を突き詰めると：目標に向かって最後までやり抜き、人と関わりながらよりよく生きるための素地や基礎体力を育成することにつながる。
【具体的取組】⇒体育の時間の充実、業間や放課後活動を活用した運動の習慣化、基本的生活習慣（早寝、早起き、朝ご飯、メディアとの関わり）八代スピリッツの更なる推進、「自立」と「自律」に向けた心の醸成、生徒指導4機能を活用した学級経営の充実、地域を巻き込んだ安全な生活への意識化、防災教育の推進、「危機管理マニュアル」「学校安全計画」の定期的な見直しと改善、危険箇所の把握と「マイタイムライン」の活用

<p>【教育課程の編成と実施】 ○地域・課程との連携・協働により、「社会に開かれた教育課程」（カリキュラム・マネジメント）を実現し、組織的・意図的・計画的に教育活動の質の向上を図る。 ○すべてにおいて、主体的・対話的で深い学びにつながる授業実践、各種教育活動を実践し、求められる資質・能力を育成する。 ○自己有用感を高めることを念頭にいた学校行事や各種取組の工夫（PDCAによる常に改善を意識）</p>	<p>【指導の充実】 ○いじめ・不登校の未然防止と早期解消を学校総体で取り組むため生徒指導提要に基づいた問題行動等への組織的対応と「愛の1・2・3+1」を実施する。 ○「教師は最大の教育環境である」の自覚のもと、愛情と使命感、結果への責任感をもつ。 ○児童理解につとめ、実態に応じながら「認め・褒め・励まし・伸ばす」指導を継続する。</p>
---	--

【指導体制の充実】
○いずみ学園として義務教育終了時に期待する子供の姿を共有し、指導において共通理解を図り共通実践する。
○極少数の職員集団であるがゆえ、意思の疎通が図りやすいというメリットを生かしながら、全職員が同じベクトルで学校運営に参画する高い意識をもつ。
○学校内外における研修の充実や近隣校との合同研修、校務分掌担当の焦点課により、教職員の資質向上を図る。
○コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進と充実を図るため、学校運営協議会や地域コーディネーター及びPTAとの連携を密に図る。
○学校評価を元にした、教育活動の点検と改善を図る。
○関係機関と連携した避難訓練の実施により、安全への主体的態度を培う。